

平成28年度  
年報

## ■ 目 次 ■

◇目的及び事業	2～3
◇平成 28 年度事業概要	
I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業	4
II 展覧会事業 (1) 展覧会開催事業	4
(2) 常設展の展示構成	5
III 教育普及事業	6
IV 北海道文学に関する調査研究事業	7
V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業	7
VI 啓発広報事業	8
VII 刊行物の刊行事業	8
VIII その他の付帯事業	8
◇統計・資料	
I 平成 28 年度 展覧会別観覧状況	9
II 平成 28 年度 事業別利用状況	9
III 平成 28 年度 資料収集状況	10
◇組織及び職員	
I 組織機構図	11
II 職員	11
◇その他	
I 文学館の歩み	12～13
II 諸会議・運営日誌	14～17
III 公益財団法人北海道文学館役員名簿	18

## ■ 目的及び事業 ■

### ●北海道立博物館条例（抄）

（設置）

第1条 北海道における教育、学術及び文化の振興を図るため、北海道立博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

（名称及び位置）

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
北海道立北方民族博物館	網走市
北海道立文学館	札幌市
北海道立釧路芸術館	釧路市

（事業）

第3条 博物館は、次の事業を行う。

- (1) 資料を収集し、保管し、展示し、及び閲覧に供すること。
- (2) 展覧会、講演会等の催しを開催し、及び他のものが行うこれらの催しに協力すること。
- (3) 資料の利用に関し、必要な説明、助言等を行うこと。
- (4) 博物館（北海道立北方民族博物館（第6条において「北方民族博物館」という。）を除く。）の施設及び設備（以下「施設等」という。）を文学、美術等芸術に関する催しの利用に供すること。
- (5) 資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと。
- (6) 資料の保管、展示等に関する技術的な研究を行うこと。
- (7) 解説書、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (8) 他の博物館等と連携し、及び協力すること。
- (9) 地域の教育文化施設が行う北方文化、文学、美術等芸術に関する活動を援助すること。
- (10) その他設置の目的を達成するために必要な事業

（指定管理者による管理）

第4条 博物館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定による指定を受けた法人その他の団体（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

（指定管理者が行う業務の範囲）

第5条 指定管理者が行う業務は、次のとおりとする。

- (1) 第3条各号（第5号及び第6号を除く。）に掲げる事業に関すること。
- (2) 第8条第1項、第13条及び第16条第2項の承認に関すること。
- (3) 施設等の維持管理に関すること。
- (4) その他教育委員会が定める業務。

（開館時間）

第6条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時まで（北方民族博物館にあつては、午前9時30分から午後4時30分まで）とする。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に開館時間を変更することができる。

（休館日）

第7条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、博物館の管理運営上必要があるときその他特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、休館日に開館し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日（当該日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、休日に該当しない当該日の直後の日）

(2) 12月29日から翌年の1月3日まで

（利用料金）

第12条 利用者は、その利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に納めなければならない。

2 大学等（大学その他規則で定める学校をいう。以下同じ。）は、その学生が博物館に展示する資料（常設展示に限る。）を観覧する場合の利用料金として、年間利用料金を指定管理者に納めることができる。

3 前2項の規定により指定管理者に納められた利用料金及び年間利用料金（以下この条において「利用料金等」という。）は、指定管理者の収入とする。

4 利用料金の額は別表第1に定める額の範囲内、年間利用料金の額は別表第2に定める額の範囲内において、それぞれ指定管理者が知事の承認を受けて定める。これらを変更しようとするときも、同様とする。

別表第1（第12条関係）

1 博物館に展示する資料を観覧する場合

(2) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の常設展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	500円	1人に 330円 つき
2 1以外の者（学齢に達しない者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者を除く。）	950円	1人に 790円 つき

(4) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の特別展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者	1,410円	1人に 1,220円 つき
2 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	2,320円	1人に 1,720円 つき
3 1及び2以外の者（学齢に達しない者を除く。）	3,520円	1人に 2,730円 つき

2 北海道立文学館の特別展示室又は講堂を利用する場合

区分	利用料金の上限額		
	午前	午後	1日
特別展示室			85,080円
講堂	12,310円	14,200円	21,800円

## ■ 平成 28 年度事業概要 ■

### I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業

購入資料受入れ総数（図書・雑誌及び特別資料等）	866 点
寄贈資料受入れ総数（同上）	2,010 点
	2,876 点
整理・保存	収蔵資料のコンピュータ入力並びに寄贈目録の作成等
閲覧	利用者 延 4,830 人

### II 展覧会事業

#### (1) 展覧会開催事業

区分	事業名	実施時期 (日数)	観客数 (人)	展覧会の概要
	常設展 北海道の文学	通年 (308 日間)	8,754	北海道の文学を時系列に従いつつジャンル別に構成し、解説している。ビジュアルな展示スタイルに主眼を置き、直筆原稿・遺品・初版本・書簡・写真などの貴重な資料 1,350 点を紹介。(◎展示構成を次頁に掲載。)
	特別展 〈青春の記憶 夢みる力〉 佐藤泰志の場所（トポス）	4/23(土) ～ 6/19(日) (50 日間)	2,603	佐藤泰志は 17 歳で有島青少年文芸賞優秀賞を「青春の記憶」で受賞、その後多くの秀作を「北方文芸」に発表。上京後も気鋭の作家として活躍し、「きみの鳥はうたえる」などで 5 度にわたり芥川賞候補になった。41 歳で自ら命を絶つが、足どりを辿りながら、「全存在作家」として疾走した彼の見た風景と文学世界を生原稿などの貴重な資料を通じて紹介。
	特別展 ミッフィーのたのしい お花畑～ディック・ブルーナが 描くお花と絵本の世界展～	6/29(水) ～ 9/4(日) (59 日間)	5,909	ディック・ブルーナは、オランダで最も有名なグラフィック・デザイナーであり絵本作家のひとり。1955 年に誕生した絵本の主人公ミッフィー（うさこちゃん）は、世界中で愛されてきた。本展ではとくに「花」と「植物」にスポットをあて、それらが登場する作品や、日本では未刊行の絵本「はなのほん」、あわせて独自のスタイル確立へのきっかけをつくったペーパーバック（大人向け推理小説）の装丁の仕事も紹介。
	特別展 2016 年の宮沢賢治 —科学と祈りのこころ	9/17(土) ～ 11/16(水) (52 日間)	4,692	本展では「グスコープドリの伝記」を中心に、この作品の成り立ちや分析を通して、厳しい自然環境や災害に苦しむ東北の農村を救済しようとした宮沢賢治の「科学と祈りのこころ」を読み解くとともに、東日本大震災という大規模な災害の経験を踏まえて、この物語をどのように読み、何を受け継ぐかを考える。
	ファミリー文学館 ワン/ニャン/ どっちも大好き	12/1(木) ～ 1/22(日) (41 日間)	1,760	文学作品に描かれている犬や猫の姿を、当館所蔵品の中から紹介。小説・エッセイ・詩・短歌・俳句・川柳・童話・絵本の中のさまざまな犬や猫たちと触れあってもらうとともに、親子で楽しめる絵本コーナーや簡単手作りコーナーを設置。
	特別展 「手仕事の日本」と 民藝の思想 —柳宗悦、暮らしの中の美を綴る	2/4(土) ～ 3/26(日) (44 日間)	3,748	柳宗悦は、暮らしの道具に美の本質を見出し、民衆的工芸の思想を標榜する民藝運動を主導した思想家。本展では、民藝思想を深める中で著した柳の著作をはじめ、芹澤銈介や棟方志功など民藝運動に関わった作家たちによる染色や版画作品のほか、益子焼や津軽こぎん、沖縄の壺屋焼などもあわせて紹介。

#### 【文学館アーカイヴ（新着資料）コーナー】

- ・第 1 期展示〔4 月 12 日(火)～6 月 19 日(日)〕  
装丁で楽しむ北海道の文学  
北海道作家の本のヴィジュアルな要素に注目し、文章とイメージの相乗による魅力を紹介。
- ・第 2 期展示〔7 月 5 日(火)～9 月 4 日(日)〕  
紙芝居一戦中・戦後  
当館所蔵の紙芝居の中から戦中・戦後のものを紹介。
- ・第 3 期展示〔9 月 13 日(火)～11 月 7 日(月)〕

文学館の中の美術—宮崎丈二

北海道の詩人とも交流があった詩人でもあり画家でもある宮崎丈二の作品を紹介。

- ・第4期展示〔11月22日(火)～1月15日(日)〕

2016年の主な受賞とトピックス

北海道ゆかりの受賞者たちと受賞した作品を紹介。

- ・第5期展示〔1月31日(火)～3月26日(日)〕

北の手仕事あれこれ

装丁本や染絵など、手仕事の魅力を紹介。

(2) 常設展の展示構成

〈北海道の文学、その歴史〉〔神谷忠孝・平原一良〕

◆20世紀への胎動 久保栄「五稜郭血書全5幕」自筆原稿、北方謙三「林蔵の貌」自筆原稿、高倉新一郎「札幌農学校」 ◆助走期の苦闘 有島武郎・木田金次郎宛書簡、武者小路実篤「武郎さんと僕」自筆原稿、雑誌「白樺」 ◆漂泊と彷徨 国木田独歩「欺かざるの記」複製原稿、幸田露伴「二日物語 此一日」複製原稿、石川啄木「雲は天才である」複製原稿 ◆道産子作家の誕生 武林無想庵「アルバム」自筆原稿、森田たま「きもの博士」自筆原稿、中戸川吉二・久米艶子宛書簡 ◆逆流のさなかで 小林多喜二「故里の顔」複製原稿、久保栄「火山灰地」自筆原稿、本庄陸男「逆流」自筆原稿 ◆モダニズムの台頭 伊藤整「文化的青春伝」自筆原稿、中村武羅夫自筆色紙、岡田三郎「かぼちゃ談義」自筆原稿 ◆戦火の中で 辻村もと子「馬追原野」自筆原稿、石塚喜久三「花の海」自筆原稿、坂本直行自筆カット原画 ◆復興と再生 畔柳二美「こぶしの花の咲くころ」自筆原稿、風巻景次郎「札幌地理学」複製原稿、船山馨遺品 ◆成長期の精華 雑誌「北海道文学」(原田康子「挽歌」掲載)、和田芳恵「五十年ぶりの帰郷」自筆原稿、李恢成自筆色紙、三浦綾子短冊(三浦光世筆) ◆変転する現代 高橋揆一郎「『伸子』覚え書き」自筆原稿、吉村昭「赤い人」自筆原稿、渡辺淳一「リラ冷えの街」自筆原稿

〈北海道の詩〉〔原子修〕

◆「現代の詩」の創造に挑んだ〈風の詩人〉たち 吉田一穂「魚歌」自筆扁額、小熊秀雄画「裸婦」 ◆「現代の詩」を北の大地に根づかせた〈土の詩人〉たち 更科源蔵「河童十二ヶ月」複製原稿、和田徹三「命」自筆原稿、河邨文一郎「オホーツク」自筆原稿 ◆「現代の詩」の新しい可能性を求めて 原子修自筆色紙

〈北海道の短歌〉〔内田弘〕

◆北海道歌壇の動き 小田観螢、並木凡平、酒井廣治、山下秀之助、伊東音次郎 ◆北海道歌人会 その主な活動 ◆歌人達の揮毫 野原水嶺、芥子澤新之介、小田観螢、宮西頼母、川村濤人、樋口賢治 ◆北海道を詠む 石川啄木、太田水穂、若山牧水、土屋文明、与謝野寛、与謝野晶子、斎藤茂吉、佐藤佐太郎、橋本徳寿、宮柊二、太田青丘、齋藤史、清原日出夫

〈北海道の俳句〉〔木村敏男〕

◆北方俳句の夜明け 松窓乙二、河東碧梧桐、牛島勝六、高浜虚子、長谷川零餘子、白田亜浪、石田雨圃子、青木郭公ほか ◆俳句近代化への潮流 荻原井泉水、泉天郎、長谷部虎杖子、唐笠何蝶、細谷源二、土岐鍊太郎、伊藤凍魚、水野波陣洞ほか ◆花ひらく北の俳句 齋藤玄、寺田京子、比良暮雪ほか ◆俳句の現代 鮫島交魚子、園田夢蒼花、山岸巨狼ほか

〈アイヌの口承文芸〉〔青柳文吉〕

金田一京助、知里真志保、久保寺逸彦、金成マツ、知里幸恵、萱野茂

〈北海道の川柳〉〔斎藤大雄〕

◆明治～昭和初期 鈴木青柳、北村白眼子、亀井花童子、神尾三休、三輪破魔杖、井上剣花坊、鶴彬、西嶋〇丸、田中五呂八ほか ◆昭和後期～平成7年 西村欣童、高木夢二郎、森田一二、甲野狂水、古田八白子 ◆北海道の川柳社 道央、道南、道東、道北の各結社の活動と結社誌等を紹介

〈北海道の児童文学〉〔柴村紀代〕

◆明治～昭和20年代 伊東音次郎、支部沈黙、坪松一郎ほか ◆昭和30年代 石森延男、神沢利子、安藤美紀夫、渡辺ひろし、玉川雄介ほか ◆昭和40年代以降 加藤多一、後藤竜二、長野京子ほか

〈千島・樺太の文学〉〔木原直彦〕

夏堀正元、吉村昭、李恢成、寒川光太郎ほか

### III 教育普及事業

注：「事業項目」の無印は道負担事業。※印は財団企画事業。

事業項目	事業名	実施時期(日数)	目標観覧者数(人)	観覧者数(参加者実数)	観覧率(%)	備考		
教育普及事業	講演会・セミナー・講話等	オープニングセレモニー		20		「佐藤泰志展」関連事業		
	朗読会	朗読会「市街戦のジャズメン」 出演：朗読ユニット華音	4/30(土)	91		〃		
	ギャラリートーク	ギャラリートーク 講師：当館副館長	5/7(土)、5/22(日)、 6/12(日)	58		〃		
	文芸講演会	文芸講演会「佐藤泰志とその時代」 講師：菊田健二(詩人、映画監督)	5/15(日)	80	70	87.5%	〃	
	映画上映会	映画上映会「書くことの重さ～作家佐藤泰志」 講師：稲塚秀孝(ドキュメンタリー映画監督)	5/22(日)		70		〃	
	朗読会	朗読会「佐藤泰志『海炭市叙景』と函館の文学」 出演：ドラマチックリーディンググループき・く・ら	5/29(日)		34		〃	
	音楽会	音楽会「佐藤泰志追想『青春の記憶』コンサート」 出演：松本樹佳(ギター)、松本詩子(キーボード)、 長崎亜希子(クラリネット)	6/11(土)		58		〃	
	オープニングセレモニー	オープニングセレモニー	6/29(水)		60		「ミッフィー展」 関連事業	
	親子でいろがみワーク	親子でいろがみワーク	7/26(火)、8/9(火)、 8/10(水)		100		〃	
	オープニングセレモニー	オープニングセレモニー	9/17(土)		15		「宮沢賢治展」関連 事業	
	ギャラリートーク	ギャラリートーク 講師：当館学芸員、財団理事	9/17(土)、9/24(土)、 10/22(土)、10/29(土)		67		〃	
	文芸講演会	文芸講演会「宮沢賢治はブドリに何を託したか」 講師：岡田弘(北海道大学名誉教授)	9/17(土)	80	64	80.0%	〃	
	文芸講演会	文芸講演会「ケンジさんを語る『祖父から聞いた 兄・宮沢賢治』」講師：宮澤和樹(林風舎代表)	9/19(月)	60	87	145.0%	〃	
	朗読と演奏	朗読と演奏「銀河鉄道、北から一詩と音楽のひとつとき」 朗読：斉藤征義、五十嵐いおり、演奏：渡部大三郎(クラリ ネット)、岸林大輔(パーカッション)	9/22(木)		79		〃	
	文学散歩	文学散歩「札幌の宮沢賢治～その足どりをたど る」案内：石本裕之(旭川工業専門学校教授)	9/30(金)		27		〃	
	文芸講演会	文芸講演会「東日本大震災後に読む『雨ニモマケズ』と『万 丈記』」講師：高橋世織(文芸評論家)	10/1(土)	60	73	121.7%	〃	
	トークセッションI	トークセッションI「ダイアログ『冥途あり』と『怪物君』」 講師：吉増剛造(詩人)、長野まゆみ(小説家)	10/2(日)	60	88	146.7%	〃	
	プラネタリウム映写会	プラネタリウム映写会+星空解説 解説：高橋真理子(星空工房アルリシャ代表)	10/8(土)～9(日)		151		〃	
	トークセッションII	トークセッションII「『宮沢賢治』をめぐる対話 2016」講師：アーサー・ビナード(詩人)、池澤 夏樹(当館館長)	10/23(日)	60	102	170.0%	〃	
	絵本作家トーク	絵本作家トーク「わたしと宮沢賢治～スズキ コージが語る童話の世界」講師：スズキコ ジ(絵本作家)	11/5(土)	60	92	153.3%	〃	
	大川柳句会	大川柳句会 講師：岡崎 守(北海道川柳連盟代表)	12/4(日)	80	19	23.8%	ファミリー文学 館関連事業	
	朗読会	朗読会「ニャンとワンダフルなひととき」 出演：NHK文化センター「松井信子朗読教室」	12/11(日)、12/25(日)、 1/15(日)		130		〃	
	大人のためのワークショップ	大人のためのワークショップ「カードを作ろう 犬の巻」講師：山田白百合(イラストレーター)	12/18(日)		12		〃	
	大人のためのワークショップ	大人のためのワークショップ「カードを作ろう 猫の巻」講師：山田白百合(イラストレーター)	1/22(日)		19		〃	
	講座	講座「『手仕事の日本』のこころ」講師：三浦正 宏(海苔舎代表)	2/4(土)	80	75	93.8%	「手仕事の日本 展」関連事業	
	さわる・ギャラリートーク	さわる・ギャラリートーク 講師：当館学芸員	2/11(土)、2/25(土)、 3/11(土)、3/25(土)		66		〃	
	ワークショップ	ワークショップ「変わらぬ細工をつくらう」 講師：札幌村文化センター「変わらぬ細工の会」	2/12(日)、2/26(日)		44		〃	
	朗読会	朗読会「声と絵で楽しむ『手仕事の日本』」 出演：穴水重雄(元NHKアナウンサー)	3/10(金)		60		〃	
	ワークショップ	ワークショップ「はじめてのごきん刺し」 講師：イフハラマリコ(手芸作家)	3/12(日)		13		〃	
	夏休み文学道場	「中・高生のための創作講座」	7/27(木)～7/29(金)	20	24	120.0%	〃	
	小・中・高生短歌 コンテスト	小・中・高生を対象に作品を募集し、優秀作品 を表彰するとともに、当館ロビーに作品展示	7/1(金)～1/22(日)	3,000	4,639	154.6%	〃	
	ファミリー文学館	ファミリー文学館 ワークショップ「しおりをつくらう」	12/3(土)		59		〃	
	映画鑑賞会	映画鑑賞会「海炭市叙景」	12/1(木)～1/22(日)	2,000	441	22.1%	〃	
	映画鑑賞会	映画鑑賞会「そのみにて光輝く」	4/23(土)		60	61	101.7%	〃
	映画鑑賞会	映画鑑賞会「夕陽の丘」	5/7(土)		60	75	125.0%	〃
	映画鑑賞会	映画鑑賞会「夕陽の丘」	6/12(日)		60	71	118.3%	〃
	映画鑑賞会	映画鑑賞会「宮沢賢治 その愛」	9/18(日)		60	100	166.7%	〃
	映画鑑賞会	映画鑑賞会「グスコープドリの伝記」	10/30(日)		60	82	136.7%	〃
	市町村連携事業 「文学館出前講座」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等 を開催	19市町村20会場	1,200	2,031	169.3%	〃	
	市町村連携事業 「ミニ巡回展」	市町村、学校、文化団体等との共催でパネル展 等を開催	4市町村4会場	1,000	2,388	238.8%	〃	
	文学・活字文化の 振興事業	「北海道文学館公開歌会・句会」 出演：くまのりすと、内田弘、田島岬、岡崎守、 <実作者>短歌、俳句、川柳各2名	10/29(土)	60	62	103.3%	〃	
	古典の日記念朗読会	朗読：ドラマチックリーディンググループ蔵	11/4(金)		60	144	240.0%	〃
	月例朗読会	朗読：朗読表現「ゆうの会」ほか4団体	年10回		600	580	96.7%	〃
	わくわくこどもランド	紙芝居、読み聞かせ、工作教室などに親子で参加	15回開催		700	570	81.4%	〃
	ロビーコンサート	「篠笛と箏による和楽器の調べ」	11/3(木)		120	78	65.0%	〃
文化施設連携事業	「カルチャーナイト2016」 展示室の夜間開催等を実施	7/22(金)		200	300	150.0%	〃	
文学資料の利用	閲覧室での研究、調査、読書等	通年(308日間)			4,830		〃	
文学愛好団体の活動	文学愛好団体が講堂利用(貸館)	通年(308日間)			1,457		〃	
負担金事業計			9,880	19,836	200.8%	〃		
※ 講演会・セミナー・ 講話等	池澤館長連続講演会(5回)	4月～3月	480	344	71.7%	〃		
※ 文学館カレッジ	・文学案内人、川柳教室、絵本作家、源氏物語、 宮沢賢治の世界、生誕記念講座の6講座	5月～3月	500	568	113.6%	〃		
※ 文学館まつり	資料公開、朗読とギターのひとつとき、子ども広 場、秋のミニ色紙づくりなど	9/22(木)	300	306	102.0%	〃		
※ 文化公債の活動	コンサート、朗読会の会場に利用	閉館後の夜間	500	774	154.8%	〃		
※ 小学生向け事業	「文学館たんけんクイズ」	通年(308日間)	100	234	234.0%	〃		
※ 自主企画事業計			1,880	2,226	118.4%	〃		
教育普及事業参加者 計			11,760	22,062	187.6%	〃		

#### IV 北海道文学に関する調査研究事業

- ① 特別展「佐藤泰志の場所（トポス）」関連資料調査
- ② 特別展「ミッフィーのたのしいお花畑」関連資料調査
- ③ 特別展「2016年の宮沢賢治」関連資料調査
- ④ ファミリー文学館「ワン／ニャン／どっちも大好き」関連資料調査
- ⑤ 特別展「手仕事の日本」と民藝の思想」関連資料調査
- ⑥ 特別展の図録作成に要する調査
- ⑦ 次年度の特別展「ふみくらの奥をのぞけば」関連資料調査
- ⑧ 次年度の特別展「北方文芸」と道内文学同人誌の光芒」関連資料調査
- ⑨ 次年度の特別展「くサハリン島」2017」関連資料調査
- ⑩ 次年度のファミリー文学館関連資料調査
- ⑪ 次年度の特別展「有島武郎と未完の『星座』」関連資料調査

#### V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業

次の団体の事業に対して、後援並びに共催により支援した。

- ① 中川町教育委員会  
斎藤茂吉記念第23回中川町短歌フェスティバル  
(平成28年6月1日～10月31日 中川町)
- ② ロメウス弦楽四重奏団  
ロメウス弦楽四重奏団第2回演奏会  
(平成28年6月4日 北海道立文学館地下ロビー)
- ③ 新緑のバロック実行委員会  
新緑のバロック  
(平成28年6月10日 北海道立文学館地階ロビー)
- ④ ふるさとを歌う会 in 札幌 森の時間  
震災復興チャリティーコンサート「第2回 JAPAN×竹あかり」  
(平成28年9月24日及び25日 北海道立文学館地下ロビー)
- ⑤ 北のやまねこ座×詫び助  
宮沢賢治生誕120年 朗読と音楽「宮沢賢治イーハトーブへの招待状」  
(平成28年10月10日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑥ NHK文化センター朗読教室 松井信子クラス  
第18回「北海道ゆかりの文学を読む」朗読会  
(平成28年10月16日 北海道立文学館講堂)
- ⑦ 札幌大学熊谷ユリヤ研究室  
宮沢賢治の詩の世界～朗読とハーブ  
(平成28年10月27日 札幌市時計台ホール)
- ⑧ 山口流梅桃桜会札幌  
山口千壽篠笛演奏会 Vol.8  
(平成28年10月29日 北海道立文学館地下ロビー)
- ⑨ 宮下祥子ギター教室  
SAPPORO WING CONCERT Vol.1  
(平成28年11月5日 北海道立文学館地下ロビー)
- ⑩ チーム北斗星  
絵本作家あべ弘士×写真絵本作家寺沢孝毅トークライブ  
(平成28年11月12日 北海道立文学館講堂)



- ⑪ 特定非営利活動法人 絵本・児童文学研究センター  
絵本・児童文学研究センター第21回文化セミナー「みみをすます 人・詩・絵本」  
(平成28年11月20日 小樽市民会館)
- ⑫ ハビエル・ジャラ ギターリサイタル実行委員会  
ハビエル・ジャラ ギターリサイタル  
(平成28年12月1日 北海道立文学館地下ロビー)
- ⑬ クリスマスの煌めき実行委員会  
クリスマス煌めき～音楽と朗読とともに  
(平成28年12月10日 北海道立文学館地下ロビー)
- ⑭ ふるさとを歌う会 in 札幌 森の時間  
震災復興チャリティーコンサート「第4回 JAPAN×竹あかり」  
(平成28年12月11日 北海道立文学館地下ロビー)
- ⑮ ふるさとを歌う会 in 札幌 森の時間  
震災復興チャリティーコンサート「第5回 JAPAN×竹あかり」  
(平成28年12月18日 北海道立文学館地下ロビー)
- ⑯ ロメウス弦楽四重奏団  
ロメウス弦楽四重奏団第3回演奏会  
(平成29年3月1日 北海道立文学館地下ロビー)
- ⑰ ふるさとを歌う会 in 札幌 森の時間  
JAPAN×竹あかり 震災追悼コンサート  
(平成29年3月11日 北海道立文学館地下ロビー)

## VI 啓発広報事業

- ① 事業案内、各展覧会ポスター・ちらし及び講演会・セミナーちらし等を制作・発行し、道内外の文学館、道内の博物館や図書館、札幌市内の地区センター、区民センター、カルチャーセンター、主要ホテル、観光案内所等に配布した。又、地下鉄各駅構内にポスターの掲示を行った。更に、展覧会の開催をPRするため、TV及び新聞紙上で有料広告を行った。
- ② 「北海道文学館報」第105号(5月27日付)、第106号(8月19日付)、第107号(11月5日付)、第108号(3月7日付)を発行した。

## VII 刊行物の刊行事業

- ① 特別展「佐藤泰志の場所(トポス)」図録の刊行
- ② 特別展「2016年の宮沢賢治」図録の刊行
- ③ 特別展「「手仕事の日本」と民藝の思想」図録の発行
- ④ 「平成27年度年報」の刊行

## VIII その他の付帯事業

- ① 博物館実習生の受入  
博物館実習生13名(受入期間 7月～2月。実習期間 2週間)

## ■ 統計・資料 ■

### I 平成 28 年度 展覧会別観覧状況

単位：名

区分	常設展		特別展				計		
	北海道の文学	佐藤泰志展	ミッフィー展	宮沢賢治展	ファミリー文学館	民藝の思想展			
開催日数	308	50	59	52	41	44			
有 料	個 人	一般	625	646	2,151	1,629		1,232	6,283
		高大生	86	19	146	97		47	395
		小中生			201	69			270
	団 体	小計	711	665	2,498	1,795	0	1,279	6,948
		一般	706	177	957	1,419		304	3,563
		高大生	187	32	71	90		24	404
免 除	・招待	小計	893	209	1,053	1,509	0	328	25
		小計	893	209	1,053	1,509	0	328	3,992
		免除・招待	7,150	1,729	2,358	1,388	1,760	2,141	16,526
観覧者総数	8,754	2,603	5,909	4,692	1,760	3,748	27,466		

### II 平成 28 年度 事業別利用状況

単位：名

区分	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
		常設展	569	775	788	833	703	880	902	761	351	427	760	1,005
展 覧 会 事 業	佐藤泰志展	377	1,291	935										2,603
	ミッフィー展			170	2,048	2,664	1,027							5,909
	宮沢賢治展						1,262	2,179	1,251					4,692
	ファミリー文学館									835	925			1,760
	文学と民藝展												1,471	2,277
	小計	946	2,066	1,893	2,881	3,367	3,169	3,081	2,012	1,186	1,352	2,231	3,282	27,466
負 担 金 事 業	講演会・セミナー・講話等	111	202	148	17	83	313	440	92	107	73	146	112	1,844
	夏休み文学道場				24									24
	小・中・高生短歌コンテスト						4,639			59				4,698
	ファミリー文学館										441			441
	映画鑑賞会（5回）	61	75	71			100	82						389
	地域連携事業 「文学館出前講座」	50	63	32	507	77	480	542	280					2,031
	地域連携事業 「ミニ巡回展」			1,020		1,168		200						2,388
	文字活字文化振興事業							62						62
	朗読会（古典の日）								144					144
	月例朗読会		61	50	55	52	62	57	44	63		68	68	580
	わくわくこどもランド		137	40	52	74	50	17	73	68	20	12	27	570
	ロビーコンサート								78					78
	カルチャーナイト 2016				300									300
	小計	222	538	1,361	955	1,454	5,644	1,400	711	297	534	226	207	13,549
	愛好団体の文学活動	12	72	130	129	57	188	291	209	24	116	20	209	1,457
	資料閲覧・共同研究	348	456	351	425	367	491	429	384	298	449	408	424	4,830
	計	582	1,066	1,842	1,509	1,878	6,323	2,120	1,304	619	1,099	654	840	19,836
負担金事業計	1,528	3,132	3,735	4,390	5,245	9,492	5,201	3,316	1,805	2,451	2,885	4,122	47,302	
自 主 企 画 事 業	講演会・セミナー・講話等		80		66	63					46			89
	文学館カレッジ		33	67	66	66	66	66	66	32	44	44	18	568
	文学館まつり（9/22）						306							306
	文学館探検クイズ	5	11	24	47	52	33	13	23	11	8	2	5	234
	公演（コンサート、朗読会）			93				116	124	108	193			140
	自主企画事業計	5	124	184	179	181	521	203	197	236	98	46	252	2,226
ボランティア活動状況	0	9	3	26	3	15	22	6	12	3	22	8	129	
その他（喫茶コーナー）	160	233	221	229	189	313	363	210	89	108	248	359	2,722	
合計	1,693	3,498	4,143	4,824	5,618	10,341	5,789	3,729	2,142	2,660	3,201	4,741	52,379	

### Ⅲ 平成 28 年度 資料収集状況

収集状況

単位：点

区 分	購 入	寄 贈	合 計
図 書 資 料	472	435	907
雑 誌 資 料	386	1,512	1,898
視 聴 覚 ・ 電 磁 資 料	0	0	0
特 別 資 料	8	63	71
計	866	2,010	2,876

〈主な収集特別資料一覧〉

伊藤整自筆原稿「夜の洞爺」(400字詰5枚)	1点購入
森田たま自筆原稿「夜桜」(400字詰14枚)	1点購入
吉田一穂自筆色紙「半眼微笑」(2枚)	1点購入
梁川剛一肉筆絵色紙	1点購入

財団法人あて	
有島武郎書簡(宛先不明)	1点受贈
三浦清宏自筆色紙「楽しむ」	1点受贈
後山一朗撮影プリント写真(三浦綾子関係)	40点受贈



## ■ その他 ■

### I 文学館の歩み

年次	事 項	年次	事 項
昭和42	北海道文学館設立総会、館報1号発行、有島武郎文学展	63	北海道歌人会創立35周年記念展、北海道新聞文学賞展、『北海道文学読本』発行、没後30年久保栄文学展、近代日本の文豪——森鷗外展、財団法人北海道文学館設立
43	文学に見る北方風物展	平成元	胆振文学展・目で見る風土と文学、俳句誌「葦牙」創刊700号記念展、北海道女流作家第一号森田たま展、北海道川柳展、作家生活25年記念三浦綾子展（札幌、旭川）
44	北海道旅の文学展	2	児童文学「新十津川物語」展（札幌、新十津川）、移動展・石川啄木と野口雨情展、文化情報誌「ニュースきょうどう・カムイミンタラ」展、歌誌「新壑」創刊60周年記念展、北のロマンを奏でる——渡辺淳一文学展、市町村文芸誌展——道東・道北編
45	伊藤整・亀井勝一郎文学展	3	市町村文芸誌展——道央・道南編、移動展・石森延男と室蘭の児童文学展、文学展・北海道花の歳時記、来道60年記念斎藤茂吉展、文芸誌「赤煉瓦」とその周辺展
46	北海道詩歌展	4	設立25周年記念・有島武郎と木田金次郎展、北電文化誌「フロンティア」著名作家原稿展、文学展・北海道花の歳時記（室蘭）、北の文学風物誌展（冬の巻）、らいらっく文学賞展
47	目で見る札幌文学散歩	5	俳句誌「アカシヤ」500号記念展、札幌文学散歩展、没後25年・道立文学館着工記念伊藤整文学展、北海道詩人協会40周年記念展
48	藤村における旅資料展、久保栄文学展、札幌の文学・百年展	6	文学・北の歳時記展、文学展・札幌線沿線の旅、北の山と文学展 〔北海道立文学館〕
49	文学にみる札幌風物展、北海道女流文学展、小田観螢・人と作品展	7	北海道立文学館開館記念特別展・北の夜明け、所蔵品展・私の愛した抒情詩人たち（澤田誠一理事長就任）
50	札幌の作家展（戦前の巻）、戦後30年・北海道文学展、札幌の作家展（戦後の巻）、川柳に見る戦後の札幌展	8	特別企画展・北海道の俳句、特別企画展・久保栄と北海道、所蔵品展・船山馨の文学世界
51	碑にみる北の文学展、林不忘・長谷川四郎兄弟展、石狩川流域文学展、歌人・山下秀之助展	9	特別企画展・森田たまと素木しづ、特別企画展・青春と文学、所蔵品展・書簡に探る作家の素顔
52	札幌の文学サークル展、文学展・北の海、札幌・戦後演劇展	10	特別企画展・北海道の短歌、特別企画展・有島武郎とヨーロッパ、企画展・吉田一穂とその時代
53	文学展・ふるさとの窓、北海道児童文学展、さっぽろの俳句展	11	特別企画展・夏目漱石と芥川龍之介、特別企画展・〈本〉はどこに向かうのか、所蔵品展・本庄陸男と『石狩川』
54	札幌市資料館に館看板掲示、現代北海道短歌展、風土のなかの文学碑展、『北海道文学地図』発行	12	特別企画展・挿絵と装幀の小宇宙、特別企画展・「北緯五十度」の詩人たち、企画展・花咲く北の川柳展
55	現代北海道俳句展、北海道岬文学展、児童文学と絵日記展——石森延男・その周辺——		
56	雑誌「北方文芸」展、石森延男児童文学展、館所蔵文芸雑誌閲覧開始、北海道岬・文学展、高橋留治氏から3000余冊の詩書等寄贈、北海道文学全集展		
57	島木健作文学展、船山馨文学展、北海道・湖文学展、鮫島交魚子・加藤愛夫文学展		
58	寺田京子・宮田益子・森みつ三人展、文学展・大地と人間、にんげん坂本直行展——その絵と文学——		
59	北海道児童文学全集展、北海道演劇資料展		
60	北海道文学展示室が常設展に移行、北海道俳句展、北原白秋展、文学に見る北方風物展、『北海道文学大事典』発行、地域文化功労者賞受賞		
61	日本の文学館風景展、歌誌「原始林」40周年記念展、「石川啄木と野口雨情」文学風物展、石森延男と札幌の児童文学展、詩誌「核」30周年記念展、（和田謙吾理事長就任）		
62	『北海道文学百景』『北海道文学絵はがき』発行、北海道文学館歩み展、北海道文学館20周年記念祝賀会および記念展、俳句誌「氷原帯」創刊40周年記念展		

年次	事項	年次	事項
13	特別企画展・夢の世界のおくりもの〜アンデルセン童話・絵本原画展〜、特別企画展・100年目の小熊秀雄〜20世紀詩のアヴァンギャルド〜、企画展・映画ポスターに見る北海道の文学		プレミアム・《川柳王国》北海道の軌跡、特別展・蘭繁之の手仕事〜“美”にこだわった津軽の奇才、特別展・北斎漫画展〜伝承版木が伝える江戸の出版文化、ファミリー文学館・開いてびっくり！しかけ絵本展、特別展・吉村昭と北海道〜歴史を旅する作家のまなざし
14	特別企画展・寺山修司展〜テラヤマ・ワールド〜きらめく闇の宇宙〜、特別企画展・大自然に抱擁されて〜知里幸恵『アイヌ神謡集』の世界へ〜、企画展・中沢茂“ひとりの賑やかさ”〜根室と霧と芸術家たち〜(神谷忠孝理事長就任)	23	特別展・追悼・後藤竜二展〜子どもたちへの応援歌〜高田三郎・小泉み子兄妹展、特別展・日は過ぎ去って僕のみは〜福永武彦、魂の旅〜、ファミリー文学館・絵本の原画を運ぼう！〜現代版北前船の旅 あべ弘士「かちかち山」、特別展・赤色エレジーから小梅の初恋〜林静一展、常設展プレミアム・森田たまの交友録——書簡にみる文学者たちの筆跡、特別展・李恢成の文学、(公益財団法人北海道文学館に名称変更)
15	特別企画展・生誕100年記念 林美美子展 特別企画展・函館—青森海峡浪漫〜北の20世紀〉を紡いだ作家たち〜、企画展・詩人百田宗治の戦後〜北海道に残したもの〜	24	常設展プレミアム・書物の美〜明治・大正期の詩集〜、特別展・いせひでこ・絵本の世界—私の木、心の木、ファミリー文学館 幻想文学館 文豪たちのこわ〜い話、特別展・新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界、特別展・戦後北海道の演劇、特別展・高橋揆一郎の文学
16	特別企画展・写真家掛川源一郎の20世紀 特別企画展・更科源蔵生誕100年 北の原野の物語、企画展・アイヌ語地名を歩く——山田秀三の地名研究から——、企画展・仙花紙からの出発〜雑誌に見る「戦後」の姿、企画展・北の風土の批評精神 発生と展開〜風巻景次郎から小笠原克へ〜	25	常設展プレミアム・木版画家・佐藤国男による宮沢賢治ワールド、特別展・紙芝居の今昔、ファミリー文学館 絵本・カムイの物語、特別展・挿絵が僕らにくれたもの——ジブリが読み解く“通俗文化の源流”——、特別展・ほっかいどうの短歌100首、特別展・荒巻義雄の世界——都市型宇宙船ニュー・ユートピア・シティにむかって
17	企画展・現代少年少女詩・童謡詩展、特別企画展・神沢利子の世界〜北を想う・北を描く〜、特別企画展・原田康子の北海道〜小説「挽歌」から50年〜、企画展・サハリン追跡〜残留朝鮮人の軌跡、ファミリー文学館・春を待つ子どもたち〜いわさきちひろ複製画展〜	26	「氷点」50年 三浦綾子フォトメモリアル——後山一朗が撮り続けた約束の刻、特別展・FROM HAND TO HAND 手から手へ展、特別展・ムーミンの世界展〜ヤンソンさんからの贈り物〜、ファミリー文学館 “うま”とあそぼう!!、特別展・小檜山博の文学——野性よ退化する現代を撃て——(工藤正廣理事長就任)
18	特別企画展・石川啄木〜貧苦と挫折を超えて〜、特別企画展・池澤夏樹のトポス〜旅する作家と世界の出会い〜、企画展・人生を奏でる二組のデュオ〜有島武郎と木田金次郎・里見弴と中戸川吉二〜、企画展・写・文交響〜写真家・綿引幸造の世界から〜、企画展・〈デルス・ウザーラ〉絵物語展、企画展・書房の余滴〜中山周三旧蔵資料から〜	27	特別展・没後1年・渡辺淳一の世界——『白夜』の青春 リラ冷えを往く、特別展・挿絵の美・大衆文化の黄金時代——大正イマジユリイの世界——、特別展・没後50年 文豪・谷崎潤一郎——愛と美を求めて、ファミリー文学館 ネコノねコノ猫!!、特別展・「さとぼろ」発見 大正 昭和・札幌芸術雑誌にかけた夢
19	特別企画展・太宰治の青春〜津島修治であったころ〜、特別企画展・目で識る川柳250年展・併設：北海道川柳の流れ、企画展・父・船山馨のDNA〜船山滋生の彫刻と挿画〜、企画展・遊んで学んだ、あの時代。新発見！100年前の児童雑誌、企画展・探求者の魂〜山田昭夫の書齋から〜	28	特別展・〈青春の記憶 夢みる力〉佐藤泰志の場所(トポス)、特別展・ミッフィーのたのしいお花畑〜ディック・ブルーナが描くお花と絵本の世界展、特別展・2016年の宮沢賢治——科学と祈りのこころ、ファミリー文学館・「ワン！ニャン！どっちも大好き」、特別展・「手仕事の日本」と民藝の思想
20	特別企画展・詩の黄金の庭 吉増剛造展、企画展・馬たちがいた 加藤多一と北の風景、企画展・鳥のことば・人のことば 加藤幸子の見つめる世界、企画展・文学の鬼を志望すー八木義徳		
21	常設展プレミアム・特集「フロンティア」——60〜70年代の北海道、特別企画展・没後10年…三浦綾子／いのちへの愛、企画展・語り、継ぐ。——アイヌ口承文芸の世界、企画展・サハリンを読む——遙か [樺太]の記憶、企画展・藤倉英幸と旅のイメージ		
22	常設展プレミアム・日本人の遺書、常設展		

## II 諸会議・運営日誌

平成 28 年

- 4月23日(土) 特別展「青春の記憶 夢みる力」佐藤泰志の場所(ボトス)オープン(～6月19日)
- 4月23日(土) 映画上映会「海炭市叙景」
- 4月23日(土) 文学館出前講座「絵本の読み聞かせ」(留寿都村、講師:中村征子、原田憲子、出光圭子)
- 4月30日(土) 朗読会「佐藤泰志「市街戦のジャズメン」」(講師:朗読ユニット華音)
- 5月5日(木) わくわくこどもランド(こどもの日手作りコーナー「こいのぼりをつくろう!」)
- 5月5日(木) わくわくこどもランド(こどもの日スペシャル「人形劇」 講師:おたのしみ劇場ガウチョス)
- 5月7日(土) ギャラリートーク「佐藤泰志の映画を知るための文学ガイド」
- 5月7日(土) 映画上映会「そのみにて光輝く」
- 5月12日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
- 5月13日(金) 文学館カレッジ(秘蔵資料でたどる北海道の文学——北海道文学案内人養成コース、講師:澤田展人)
- 5月15日(日) 文芸講演会「佐藤泰志とその時代」(講師:福岡健二)
- 5月21日(土) 文学館出前講座「絵本パフォーマンス」(枝幸町、講師:岸田典大)
- 5月21日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会～釈道空(折口信夫)歌集を読み切る、講師:工藤正廣)
- 5月22日(日) 映画上映会「書くことの重さ～作家佐藤泰志」(講師:稲塚秀孝)
- 5月22日(日) ギャラリートーク「佐藤泰志の映画を知るための文学ガイド」
- 5月24日(火) 監事監査(財団)
- 5月26日(木) 文学館カレッジ(絵本学の世界II、講師:柴村紀代)
- 5月27日(金) 池澤夏樹連続講演(第10回)「宮沢賢治・中島敦」
- 5月28日(土) 文学館カレッジ(愉快地川柳講座V、講師:岡崎 守)
- 5月29日(日) 朗読会「佐藤泰志「海炭市叙景」と函館の文学」(出演:ドラマチックリーディンググループさ・く・ら)
- 6月1日(水) ミニ巡回展「ネコ!ねこ!猫!」(～6月25日、池田町)
- 6月2日(木) 文学館カレッジ(「源氏物語」への道しるべ——第二部・第三部の世界、講師:本宮洋幸)
- 6月3日(金) 第1回理事会(財団)
- 6月4日(土) わくわくこどもランド(絵本パフォーマンス 講師:岸田典大)
- 6月4日(土) 公演「ロメウス弦楽四重奏団第2回講演会」
- 6月9日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
- 6月9日(木) 理事等選任のための検討委員会(財団)
- 6月10日(金) 文学館カレッジ(秘蔵資料でたどる北海道の文学——北海道文学案内人養成コース、講師:澤田展人)
- 6月10日(金) 公演「新緑のパロック」
- 6月11日(土) 文学館カレッジ(愉快地川柳講座V、講師:岡崎 守)
- 6月11日(土) 音楽会「佐藤泰志追想『青春の記憶』コンサート」
- 6月12日(日) 映画上映会「夕陽の丘」
- 6月12日(日) ギャラリートーク「佐藤泰志の映画を知るための文学ガイド」
- 6月14日(火) 文学館出前講座「宮沢賢治の謎にせまる」(雄武町、講師:斎藤正義)
- 6月18日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会～釈道空(折口信夫)歌集を読み切る、講師:工藤正廣)
- 6月23日(木) 文学館カレッジ(絵本学の世界II、講師:杉浦篤子)
- 6月24日(金) 定時評議員会(財団)
- 6月24日(金) 臨時理事会(財団)
- 6月25日(土) 文学館カレッジ(宮沢賢治の世界を探访する、講師:押野武志)
- 6月29日(水) 特別展「ミッフィーのたのしいお花畑～ディック・ブルーナが描くお花と絵本の世界展～」オープン(～9月4日)
- 7月1日(金) 池澤夏樹連続講演(第11回)「松尾芭蕉/おくのほそ道・与謝蕪村・小林一茶・とくとく歌仙」
- 7月2日(土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、紙芝居 講師:ねこやなぎ)
- 7月7日(木) 文学館カレッジ(「源氏物語」への道しるべ——第二部・第三部の世界、講師:本宮洋幸)
- 7月8日(金) 文学館カレッジ(秘蔵資料でたどる北海道の文学——北海道文学案内人養成コース、講師:平原一良)
- 7月14日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
- 7月15日(金) 文学館出前講座「怪談文学」(池田町、講師:新明英仁)
- 7月16日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会～釈道空(折口信夫)歌集を読み切る、講師:工藤正廣)
- 7月19日(火) 文学館出前講座「朗読と演奏」(恵庭市、講師:村井裕子、あらひろこ)
- 7月19日(火) 文学館出前講座「演劇ワークショップ」(安平町、講師:森 一生)

- 7月21日(木) 文学館出前講座「絵本パフォーマンス」(札幌市、講師：岸田典大)
- 7月21日(木) 文学館カレッジ(絵本学の世界II、講師：藤田春義)
- 7月22日(金) カルチャーナイト2016(常設展・特別展夜間開館、古書バザール、朗読会など)
- 7月23日(土) 文学館カレッジ(宮沢賢治の世界を探访する、講師：尾関俊浩)
- 7月23日(土) 文学館カレッジ(愉快地川柳講座V、講師：岡崎 守)
- 7月24日(日) ミニ巡回展「文豪たちのこわーい話」(~8月31日、新ひだか町)
- 7月24日(日) 文学館出前講座「怪談文学」(新ひだか町、講師：新明英仁)
- 7月26日(火) ワークショップ「親子でいろいろがみワーク」
- 7月27日(水) 夏休み文学道場「中・高生のための創作講座」、講師：小路幸也(~29日)
- 7月31日(日) わくわくこどもランド(手作り教室「サマーブックをつくろう!」)
- 8月2日(火) わくわくこどもランド(手作り教室「紙芝居をつくろう!」)
- 8月3日(水) わくわくこどもランド(手作り教室「紙芝居をつくろう!」)
- 8月4日(木) 文学館カレッジ(「源氏物語」への道しるべ——第二部・第三部の世界、講師：本宮洋幸)
- 8月6日(土) 文学館出前講座「人形劇」(幌延町、講師：クレヨンカンパニー)
- 8月6日(土) わくわくこどもランド(紙芝居、講師：桐越陽一)
- 8月8日(月) 文学館出前講座「昭和歌謡を読む」(沼田町、講師：中澤千磨夫)
- 8月9日(火) ミニ巡回展「ネコ!ねこ!猫!」(~8月31日、砂川市)
- 8月9日(火) ワークショップ「親子でいろいろがみワーク」
- 8月10日(水) ワークショップ「親子でいろいろがみワーク」
- 8月11日(木) 月例朗読会「北の響~名作を声にのせて~」
- 8月12日(金) 文学館カレッジ(秘蔵資料でたどる北海道の文学——北海道文学案内人養成コース、講師：平原一良)
- 8月20日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会~釈道空(折口信夫)歌集を読み切る、講師：工藤正廣)
- 8月25日(木) 文学館カレッジ(絵本学の世界II、講師：清水貴子)
- 8月26日(金) 池澤夏樹連続講演(第12回)「日本語のために」
- 8月27日(土) 文学館カレッジ(宮沢賢治の世界を探访する、講師：鈴木明彦)
- 8月27日(土) 文学館カレッジ(愉快地川柳講座V、講師：岡崎 守)
- 9月1日(木) 文学館カレッジ(「源氏物語」への道しるべ——第二部・第三部の世界、講師：本宮洋幸)
- 9月3日(土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、紙芝居、講師：にじいろ)
- 9月8日(木) 月例朗読会「北の響~名作を声にのせて~」
- 9月9日(金) 文学館カレッジ(秘蔵資料でたどる北海道の文学——北海道文学案内人養成コース、講師：平原一良)
- 9月14日(水) 文学館出前講座「宮沢賢治の謎にせまる」(南幌町、講師：斉藤征義)
- 9月15日(木) 文学館出前講座「北海道映画史はじめのはじめ」(江別市、講師：前川公美夫)
- 9月15日(木) 文学館カレッジ(絵本学の世界II、講師：杉浦篤子)
- 9月17日(土) 特別展「2016年の宮沢賢治——科学と折りのこころ」オープン(~11月16日)
- 9月17日(土) ギャラリートーク
- 9月17日(土) 文芸講演会「宮沢賢治はブドリに何を託したのか——火山災害の研究現場から振り返る」(講師：岡田 弘)
- 9月17日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会~釈道空(折口信夫)歌集を読み切る、講師：工藤正廣)
- 9月18日(日) 映画上映会「宮沢賢治 その愛」
- 9月19日(月) 文芸講演会「ケンジさんを語る『祖父から聞いた兄・宮沢賢治』」(講師：宮澤和樹)
- 9月22日(木) 文学館まつり(常設展の無料開放、一日限りの資料公開、文庫本古書バザール、親子手作りコーナー、秋のミニ色紙づくり、朗読とギターのひとつときなど)
- 9月22日(木) 朗読と演奏「銀河鉄道、北から——詩と音楽のひとつとき」(出演等：斉藤征義、五十嵐いおり、渡部大三郎、岸林大輔)
- 9月23日(金) 文学館出前講座「感動のある体験が子どもの豊かな感性を育む」(西興部村、講師：本田哲也)
- 9月24日(土) 文学館カレッジ(宮沢賢治の世界を探访する、講師：斉藤征義)
- 9月24日(土) ギャラリートーク
- 9月24日(土) 文学館カレッジ(愉快地川柳講座V、講師：岡崎 守)
- 9月24日(土) 公演「震災復興チャリティーコンサート」第2回 JAPAN×竹あかり
- 9月25日(日) 公演「震災復興チャリティーコンサート」第2回 JAPAN×竹あかり
- 9月30日(金) 文学館出前講座「昭和歌謡を読む」(遠軽町、講師：中澤千磨夫)
- 9月30日(金) 文学散歩「札幌の宮沢賢治——その足どりをたどる」(講師：石本裕之)
- 10月1日(土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせなど)
- 10月1日(土) 文芸講演会「東日本大震災後に読む『雨二モマケズ』と『方丈記』」(講師：高橋世織)
- 10月1日(土) 文学館出前講座「絵本パフォーマンス」(岩見沢市、講師：岸田典大)



- 10月1日(土) 文学館出前講座「朗読と演奏」(豊富町、講師：村井裕子、あらひろこ)  
10月2日(日) トークセッションI「ダイアログ「冥途あり」と「怪物君」」(講師：吉増剛造、長野まゆみ)
- 10月2日(日) ミニ巡回展「ほっかいどうの短歌」(釧路市)  
10月6日(木) 文学館出前講座「短歌の作り方」(函館市、講師：阿知良光治)  
10月6日(木) 文学館カレッジ(「源氏物語」への道しるべ——第二部・第三部の世界、講師：本宮洋幸)  
10月7日(金) 文学館出前講座「宮沢賢治の謎にせまる」(壮瞥町、講師：齊藤征義)  
10月7日(金) 企画検討委員会(財団)  
10月8日(土) プラネタリウム映写会+星空解説(解説：高橋真理子)(～9日)  
10月10日(月) 公演「宮沢賢治生誕120年「朗読と音楽——宮沢賢治イーハトーブへの招待状」」  
10月13日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」  
10月14日(金) 文学館カレッジ(秘蔵資料でたどる北海道の文学——北海道文学案内人養成コース、講師：平原一良)
- 10月15日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会～釈道空(折口信夫)歌集を読み切る、講師：工藤正廣)  
10月16日(日) 公演「第18回「北海道ゆかりの文学を読む」朗読会」  
10月22日(土) 文学館出前講座「人形劇」(浦河町、講師：クレヨンカンパニー)  
10月22日(土) 文学館カレッジ(宮沢賢治の世界を探访する、講師：安高誠吾)  
10月22日(土) 文学館カレッジ(愉快に川柳講座Ⅴ、講師：岡崎 守)  
10月22日(土) ギャラリートーク  
10月23日(日) トークセッションII「〈宮沢賢治〉をめぐる対話2016」(出演：アーサー・ピナード、池澤夏樹)
- 10月27日(木) 文学館カレッジ(絵本学の世界Ⅱ、講師：柴村紀代)  
10月29日(土) ギャラリートーク  
10月29日(土) 文字・文化の日関連事業(北海道文学館公開歌会・句会)  
10月29日(土) 公演「山口千壽篠笛演奏会 Vol. 8」  
10月30日(日) 映画上映会「グスコブドリの伝記」  
11月3日(木) 文学館カレッジ(「源氏物語」への道しるべ——第二部・第三部の世界、講師：本宮洋幸)  
11月3日(木) ロビーコンサート(篠笛と箏による「和楽器の調べ」、出演：篠笛山口流、生田流箏曲宮城会)
- 11月4日(金) 古典の日記念事業朗読会(出演：ドラマチックリーディンググループ蔵)  
11月5日(土) わくわくこどもランド(親子で楽しむ絵本とコンサート)  
11月5日(土) 絵本作家トーク「わたしと宮沢賢治」(講師：スズキコージ)  
11月5日(土) 公演「SAPPORO WING CONCERT Vol. 1」  
11月8日(火) 文学館出前講座「朗読」(札幌市、講師：松井信子)  
11月10日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」  
11月11日(金) 文学館カレッジ(秘蔵資料でたどる北海道の文学——北海道文学案内人養成コース、講師：吉成香織)
- 11月12日(土) 公演「絵本作家あべ弘士×写真絵本作家寺沢孝毅トークライブ」  
11月19日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会～釈道空(折口信夫)歌集を読み切る、講師：工藤正廣)  
11月23日(水) 文学館出前講座「絵本パフォーマンス」(鹿追町、講師：岸田典大)  
11月24日(木) 文学館カレッジ(絵本学の世界Ⅱ、講師：杉浦篤子)  
11月26日(土) 文学館カレッジ(宮沢賢治の世界を探访する、講師：柴村紀代)  
11月27日(日) 文学館カレッジ(愉快に川柳講座Ⅴ、講師：岡崎 守)
- 12月1日(木) ファミリー文学館「ワン!ニャン!どちらも大好き」オープン(～1月22日)  
12月1日(木) ワークショップ「しおりをつくろう!」(～1月22日)  
12月1日(木) 文学館カレッジ(「源氏物語」への道しるべ——第二部・第三部の世界、講師：本宮洋幸)  
12月1日(木) 公演「ハビエル・ジャラ ギターリサイタル」  
12月3日(土) 第11回北海道小・中・高生短歌コンテスト表彰式  
12月4日(日) わくわくこどもランド(手作り教室「ツリーをつくろう!」)  
12月4日(日) “犬”川柳句会(講師：岡崎 守)  
12月8日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」  
12月9日(金) 文学館カレッジ(秘蔵資料でたどる北海道の文学——北海道文学案内人養成コース、講師：吉成香織)
- 12月10日(土) 公演「クリスマスの煌めき～音楽と朗読とともに」  
12月11日(日) 朗読会「ニャンとワンダフルなひととき」(講師：NHK文化センター「松井信子朗読教室」)  
12月11日(日) 公演「震災復興チャリティーコンサート」第4回 JAPAN×竹あかり」  
12月17日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会～釈道空(折口信夫)歌集を読み切る、講師：工藤正廣)

- 12月17日 (土) 文学館カレッジ (愉快に川柳講座Ⅴ、講師：岡崎 守)  
 12月18日 (日) 大人のためのワークショップ「カードを作ろう 犬の巻」(講師：山田白百合)  
 12月18日 (日) 公演「震災復興チャリティーコンサート」第5回 JAPAN×竹あかり」  
 12月23日 (金) わくわくこどもランド (クリスマススペシャル「ペープシアター・ボードビル」)  
 12月25日 (日) 朗読会「ニャンとワンダフルなひととき」(講師：NHK文化センター「松井信子朗読教室」)

平成 29 年

- 1月9日 (月) わくわくこどもランド (手作り教室「カルタをつくろう!」)  
 1月12日 (木) 文学館カレッジ「源氏物語」への道しるべ——第二部・第三部の世界、講師：本宮洋幸)  
 1月13日 (金) 文学館カレッジ (秘蔵資料でたどる北海道の文学——北海道文学案内人養成コース、講師：谷口孝男)  
 1月15日 (日) 朗読会「ニャンとワンダフルなひととき」(講師：NHK文化センター「松井信子朗読教室」)  
 1月21日 (土) 文学館カレッジ (生涯読書会～釈道空 (折口信夫) 歌集を読み切る、講師：工藤正廣)  
 1月22日 (日) 大人のためのワークショップ「カードを作ろう 猫の巻」(講師：山田白百合)  
 1月26日 (木) 文学館カレッジ (絵本学の世界Ⅱ、講師：杉浦篤子)  
 1月27日 (金) 池澤夏樹連続講演 (第13回)「近現代詩歌」  
 1月28日 (土) 文学館カレッジ (愉快に川柳講座Ⅴ、講師：岡崎 守)  
 1月31日 (火) 道民芸術祭「北を詠い描く Vol.Ⅴ～文芸・美術作品展～」(2月12日)  
 2月2日 (木) 文学館カレッジ「源氏物語」への道しるべ——第二部・第三部の世界、講師：本宮洋幸)  
 2月4日 (土) 特別展『手仕事の日本』と民藝の思想「オープン」(~3月26日)  
 2月4日 (土) 講座『手仕事と日本』のこころ」(講師：三浦正宏)  
 2月4日 (土) わくわくこどもランド (絵本の読み聞かせ、紙芝居など)  
 2月9日 (木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」  
 2月10日 (金) 文学館カレッジ (秘蔵資料でたどる北海道の文学——北海道文学案内人養成コース、講師：谷口孝男)  
 2月11日 (土) さわる・ギャラリーツアー  
 2月12日 (日) ワークショップ「麦わら細工を作ろう」(講師：札幌村文化センター「麦わら細工の会」)  
 2月18日 (土) 文学館カレッジ (生涯読書会～釈道空 (折口信夫) 歌集を読み切る、講師：工藤正廣)  
 2月21日 (火) 収集資料選定委員会  
 2月23日 (木) 文学館カレッジ (絵本学の世界Ⅱ、講師：柴村紀代)  
 2月24日 (金) 第2回理事会 (財団)  
 2月25日 (土) 文学館カレッジ (愉快に川柳講座Ⅴ、講師：岡崎 守)  
 2月25日 (土) さわる・ギャラリーツアー  
 2月26日 (日) ワークショップ「麦わら細工を作ろう」(講師：札幌村文化センター「麦わら細工の会」)  
 3月1日 (水) 公演「ロメウス四重奏団第3回コンサート」  
 3月2日 (木) 文学館カレッジ「源氏物語」への道しるべ——第二部・第三部の世界、講師：本宮洋幸)  
 3月4日 (土) わくわくこどもランド (春のスペシャル」絵本の読み聞かせ、紙芝居など)  
 3月9日 (木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」  
 3月10日 (金) 朗読会「声と絵で楽しむ『手仕事の日本』」(講師：穴水重雄)  
 3月11日 (土) さわる・ギャラリーツアー  
 3月11日 (土) 公演「JAPAN×竹あかり 震災追悼コンサート」  
 3月12日 (日) ワークショップ「はじめてのこぎん刺し」(講師：イワハラマリコ)  
 3月17日 (金) 池澤夏樹連続講演 (第14回)「舞台の上の世界——能・狂言、説経節、浄瑠璃」  
 3月23日 (木) 文学館カレッジ (絵本学の世界Ⅱ、講師：藤田春義)  
 3月24日 (金) 第2回評議員会 (財団)  
 3月25日 (土) さわる・ギャラリーツアー

### III 公益財団法人北海道文学館役員名簿

(平成29年3月31日現在)

顧問	池澤 夏樹 李 恢成	加藤 幸子	木原 直彦	小檜山 博	神谷 忠孝	荒巻 義雄 <7名>
参与	朝倉 賢 高島 二郎 八子 政信 源 進	加藤 多一 藤堂志津子 吉田 秋陽	木村真佐幸 永井 浩 辻脇 系一	小杉 捷七 原子 修 谷 暎子	佐々木 譲 比良 信治 出村 文理	鈴木 光彦 村田 俊秋 野坂 幸弘 <19名>

#### 役職員

理事長	1	工藤 正廣	監 事	1	中村 孝一	評 議	1	阿知良光治		
副理事長	2	内田 弘	//	2	森 一生	//	2	石本 裕之		
//	3	平原 一良				//	3	植松美由紀		
//	4	酒向 憲司				//	4	飯塚 優子		
専務理事	5	谷口 孝男				//	5	岸 美千代		
常務理事	6	武田 和弘				//	6	熊谷ユリヤ		
理 事	7	岡崎 守				//	7	佐藤 将寛		
//	8	片山 晴夫				//	8	柴橋 伴夫		
//	9	國松明日香				//	9	若宮 明彦		
//	10	斉藤 征義				//	10	高橋 秀明		
//	11	柴村 紀代				//	11	田口 耕平		
//	12	瀬戸 正昭				//	12	田中 綾		
//	13	立花 峰夫				//	13	中館 寛隆		
//	14	本田 優子				//	14	中村 三春		
//	15	前川公美夫				//	15	橋本 征子		
//	16	安高 誠吾				//	16	平野 温美		
//	17	和田 由美				//	17	松嶋 東洋		
//	18	中澤千磨夫				//	18	五十嵐秀彦		
//	19	澤田 展人				//	19	田湯 岬		
						//	20	日浅 尚子		
						//	21	三浦 幸司		

#### 収集資料選定委員会

副理事長	平 原 一 良
参 与	辻 脇 系 一
参 与	出 村 文 理
参 与	谷 暎 子
評 議 員	中 館 寛 隆

#### 企画検討委員会

理 事 長	工 藤 正 廣
委 員 長	内 田 弘
理 事	平 原 一 良
	酒 向 憲 司
	谷 口 孝 男
	安 高 誠 吾
	中 澤 千 磨 夫
	柴 村 紀 代
	瀬 戸 正 昭
評 議 員	柴 橋 伴 夫
	高 橋 秀 明
	五 十 嵐 秀 彦
	飯 塚 優 子

#### 規約・規程検討委員会

副理事長	内 田 弘
副理事長	酒 向 憲 司
理 事	前 川 公 美 夫
理 事	安 高 誠 吾
常務理事	武 田 和 弘

平成28年度年報（平成30年2月発行）

HOKKAIDO MUSEUM OF LITERATURE

**北海道立文学館**

〈指定管理者〉公益財団法人 北海道文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番4号

TEL(011)511-7655 FAX(011)511-3266